



消防団員たちの息の合った放水活動

「第68回茨城県消防ポンプ操法競技大会 県西地区大会」が10月8日、古河市中央運動公園で開催され、県西地区の10市町から全10チーム60人の選手が消火活動の確実性や速さなどを披露する競技に臨みました。

この大会は、消防団の消防技術の向上と士気高揚を図り、消防活動の充実に寄与することを目的に毎年行われ、下妻市消防団からは、第1分団が出場し、今年6月から4カ月間の厳しい訓練の成果を存分に発揮しました。

指揮者を務めた猪瀬仁さんは「今までの練習の成果を発揮し、団員が一致団結して全力を出し切ることができました」と充実した笑顔で団員たちと健闘をたたえていました。

消防団員のチームワークを発揮

第68回茨城県消防ポンプ操法競技大会 県西地区大会 10月8日



挫折から金メダルへの道を話す塚田さん

青少年の健やかな成長を支援する活動の輪が地域に広がっていくことを願って、平成29年度青少年健全育成市民大会が千代川中学校体育館で開催され、同中学校生徒や市民など約350人が参加しました。

大会では、市内各中学校の代表6人が日常生活の中で感じたことなどを発表する「少年の主張発表」とアテネオリンピック柔道金メダリストで市観光大使の塚田真希さんの講演会が行われました。

講演会で塚田さんは、高校に進学して初めて挫折を味わい柔道をやめようと思ったことや先輩からもらった魔法の言葉「自分と向き合え、弱いところと向き合え」で積極的になりオリンピックにつながったと話し、生徒たちに「あの言葉があったから今がある。失敗から学ぶことは多い」とアドバイスを送り、「東京オリンピックを経験することは、皆さんの人生の貴重な財産になるので、ボランティアでもいいので、ぜひ参加してください」と話してくれました。

金メダルをもたらした魔法の言葉

塚田真希さんが青少年健全育成市民大会で講演 10月13日

まちのわだい Town Topics

鬼怒フラワーライン「ポピーの種まき&さつまいも掘り大会」

鬼怒フラワーライン(鬼怒川左岸大形橋上流河川敷)を管理している花と万人の会が主催する「ポピーの種まき&さつまいも掘り大会」が行われました。雨の中行われた同イベントには、花万ジュニアスタッフや青龍楽校少年団、地域住民など約100人が参加。来年5月にきれいなポピーの花を咲かせようと、同河川敷の花畑で50万本分のポピーの種をまきました。

参加した子どもたちからは「ポピーの花がきれいに咲くのが楽しみ」「スプーンでの種まきは、やりやすい」などと話が聞けました。

種まきの後には、6月に定植したさつまいもの収穫が行われ、一部はその場で焼き芋に調理。温かい豚汁と一緒に振る舞われました。

雨の中、スプーンで丁寧に種をまく参加者



雨の中、スプーンで丁寧に種をまく参加者

きれいなポピーの花を咲かせるために

笑顔いっぱい、ミニミニ運動会



子どもたちに人気のパン食い競争

親子そろって、家ではできない遊びの体験や広い場所で思いっきり体を動かそうと、「Waiwaiドームしもつま」で市母子保健推進員協議会主催の「あそびの広場」が開催され、市内に住む生後6カ月から就園前の子もたちとその家族など約200人が参加しました。

「あそびの広場」は平成17年から毎年10月と3月に開催され、10月はミニミニ運動会などが行われています。今回は初めて「Waiwaiドームしもつま」の大きな屋根の下で行われ、子どもたちが「パン食い競争」などの競技を楽しみながら、成長の記念に「手形スタンプ」を残していました。

もうすぐ2歳になる女の子と参加した30代のお母さんは「たくさんの子もたちが集まって、みんなと楽しそうに走り回る娘の姿がかわいらしく、成長を感じる」と話してくれました。

みんなであそぼう「あそびの広場」 10月20日

砂沼広域公園
安全なまちづくりのための公園施設

公園の防災施設を知ろう

防災施設の整備を進めています

砂沼広域公園では、東日本大震災・関東東北豪雨の教訓から、災害時の避難などを想定して、防災施設の整備を進めています。

☎ 県常総工事事務所 道路河川整備課 ☎0297-42-2604
市都市整備課 ☎43-8356 FAX 43-2945

砂沼広域公園に整備している主な防災施設

防災トイレ
災害時、下水用マンホール内に、汚物を直接廃棄する簡易設置タイプのトイレです。

非常用照明灯
太陽エネルギーを利用して発電できる照明。停電時に備えています。

防災パーゴラ
災害時にはパーゴラがテントになります。かまどベンチも使用できます。

防災トイレイメージ図

非常用照明灯イメージ図

有料広告欄